



子どもの森づくり通信

発行：NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク

J P子どもの森づくり運動
参加園月例会報
(2022年5月号)

〒146-0082 東京都大田区池上1-3-4 tel:03-5755-3213 fax:03-5755-3081
https://www.kodomonono-mori.net mailto:info@kodomonono-mori.net

「J P子どもの森づくり運動」とご縁をさせていただいた方々に、活動情報をお送りさせていただいております。ご意見など賜れば幸いです。

<今月の1枚>



新年度が始まりましたが、新型コロナウイルス感染症の状況が改善されず、油断ができない状況が続きます。
メディアで報道される内容と保育の現場では、感染状況についてタイムラグを感じます。
そんな状況を踏まえ、J P子どもの森づくり運動では、今年上半期はオンラインでの講座を提供します。
各講師にご共感いただき、今年もとても意義ある内容となりました。
皆様の積極的なご参加をお待ち申し上げます。
今月の写真は、岩手県大槌町で開催された「東北復興グリーンウェイブ」の植樹活動です。
レポートは来月号の子森通信でお届けします。

(目次)

1. J P子どもの森づくり運動 2022年度オンライン講座のご案内
2. 「東北復興グリーンウェイブ2022」岩手県宮古市植樹会レポート
3. リレーエッセイ (2022年5月号)

■「J P子どもの森づくり運動」とは

今、子どもたちは、高度な情報化社会の中でバーチャルな環境に取り囲まれ、本物の自然体験活動から遠ざけられています。しかしながら、子どもたちは、変化に富んだ自然体験活動の中でこそ、五感を通じて豊かな感性や健全な環境意識、そして子ども本来の生きる力を育みます。「J P子どもの森づくり運動」は、NPO法人子どもの森づくり推進ネットワーク（「子森ネット」）が「日本郵政グループ」との協働体制で、全国の保育園・幼稚園・こども園を拠点に、一貫した森づくり活動を通じて幼児期の子どもたちに自然体験活動と環境学習の場を提供しようという全国運動です。

■「J P子どもの森づくり運動」運営体制

・運営：NPO法人 子どもの森づくり推進ネットワーク（「子森ネット」）

・特別協賛：日本郵政グループ

・主な後援/協力/連携団体

(公社)全国私立保育連盟

NPO法人 富良野自然塾

(公社)大谷保育協会

(公社)こども環境学会

保育環境研究所ギビングツリー

国際校庭園庭連合日本支部

(公社)国土緑化推進機構

(一社)日本森林インストラクター協会



1. JP子どもの森づくり運動 2022年度オンライン講座のご案内

JP子どもの森づくり運動では、今年度も、長引く感染症対応による厳しい保育活動の現場で頑張っておられる保育者の方々に向けて、保育・幼児教育に役立つオンライン講座をお送りします。講師の方々のご協力により、とても意義ある素晴らしい講座となりました。**すべての講座共通で、受講費は無料です。**ただ、できるだけ受講者相互の交流も実現できればと思い、受講者数を制限させていただきます。(**先着30名**) 受講ご希望の方は、早めのお申し込みをおすすめします。皆様の積極的なご参加をお待ち申し上げます。**詳細・受講申し込みは、別紙チラシをご参照下さい。**ホームページからもお申し込みいただけます。

1) 「園庭緑化運動」オンライン講座 (応募受付開始)

【6月講座】園庭緑化の意義と可能性～園庭緑化運動の2年間の歩みと自園での活動のために～

***日 時：2022年6月15日(水)14:00～15:30**

*講師(コーディネーター)：田園調布学園大学大学院 人間学研究科 子ども人間学専攻 准教授
国際校庭園庭連合日本支部 代表 仙田 考(せんだ こう) 先生



【8月講座】乳幼児期における自然・植物環境の重要性～園庭植栽のあり方について～

***日 時：2022年8月25日(木)14:00～15:30**

*講師：むぎの穂保育園 園長 出原 大(いずはら だい) 先生



【10月講座】まちを愛でてまちを楽しむ～まち保育のススメ～

***日 時：2022年10月25日(火)14:00～15:00**

*講師：横浜市立大学大学院 都市社会文化研究科
都市社会文化専攻 教授 三輪 律江(みわ のりえ) 先生



【12月講座】園児と自然の生きものが出会う空間の作り方・使い方

***日 時：2022年12月20日(火)14:00～15:30**

*講師：(公財)日本生態系協会 教育研究センター センター長 田邊 龍太(たなべ りょうた) 氏



2) 夏期オンライン講座

【7月講座(幼児(少)期の環境教育)】自然の直接体験で得られるもの～最新の研究から～

***日 時：2022年7月26日(火) 14:00～15:30 (ホームページにて、応募受付開始)**

*講師：北海道教育大学 教育学部岩見沢校 アウトドア・ライフコース
教授 能條 歩(のうじょう あゆむ) 先生



【8月講座(子どもの環境)】

***日 時：2022年8月20日(土) 14:00～15:30**

*講師：こども環境学会 代表理事 株式会社環境デザイン研究所 会長
東京工業大学名誉教授 仙田 満(せんだ みつる) 先生



【9月講座(保育の現場から)】見守る保育

***日 時：2022年9月27日(火)14:00～15:30**

*講師：保育環境研究所ギビングツリー 代表
新宿せいが子ども園 園長 藤森 平司(ふじもり へいじ) 先生



2. 「東北復興グリーンウェイ2022」岩手県宮古市植樹会レポート

- * 実施日時：2022年4月25日(月)10:00～13:30
- * 会場：岩手県宮古市「うみどり公園」および「運動公園」
- * 参加者：あかまえこども園、とよまねこども園、山田町第一保育所、織笠保育園、計園児21名
- * 協力：宮古市 宮古森林組合 社会福祉法人三心会



「東北復興グリーンウェイ」の2022年度の植樹会が、岩手県宮古市で開催されました。当日は快晴となりました。宮古市の「うみどり公園」に宮古市と山田町の保育園とこども園から21名の園児たちが集まってどんぐりの苗木を植えました。今回、植えられた苗木は、2018年に東北で生まれて、全国に送られ、3年目に東北に戻り、苗畑で出番を待っていたものです。苗木は大きくなっていましたので、園児達が数人ずつのグループに別れて協力しながら植えました。

植樹会終了後、「東北復興グリーンウェイ」のスペシャルサポーターであるチェーンソーカービング世界チャンピオンの栗田さんのカービングをみんなで見学しました。丸太からみるみる出来上がっていくフクロウに子どもたちは大喜びでした。今回の丸太は、宮古森林組合さんからご提供いただいた地元の杉の丸太です。フクロウは森の守り神です。これから苗木を見守ってくれるでしょう。



「うみどり公園での」植樹会が終了して、みんなで記念撮影



午後からは、移動して「あかまえこども園」の子どもたちが「運動公園」にも苗木を植えました。

今回の活動風景を地元紙「岩手日報」さんが取材してくれました。岩手日報 2022年4月30日掲載(掲載許諾済)



3. リレーエッセイ (2022年5月号)

幼児(少)期の環境教育をテーマに、北海道教育大学 教育学部岩見沢校 アウトドア・ライフコース 教授 能條 歩 (あゆむ) 先生によるリレーエッセイ2回目の連載です。今月号も、とても興味深い内容です。

自然体験への期待～自然との距離を縮める～

北海道教育大学 教育学部岩見沢校 アウトドア・ライフコース 教授 能條 歩



「人と自然との距離が開いている（自然とのふれあいが不足している）」ということが問題視されて久しいかと思います。しかし、実際のところはどうなのでしょう。

国立青少年教育振興機構が数年おきに実施しているこども対象の調査結果をみると、1998年以降に減り続けた自然体験は2005～2009年を底として徐々に回復傾向にあり、現在ではほぼ1998年の水準に戻っています。この結果を見るとこどもたちが自然とふれあう時間は増えているように思われますが、別のデータでは学校外での自然体験はほぼ変わらず“低値安定状態”にあることがわかるので、こどもたちの「自然とのふれあいは増えているが学校頼み」であると推察されます。

「遠くの親戚より近くの他人」などということわざにもあるように、物理的距離を縮めると心理的距離も縮まり、（親しんだり一体感を得ようとしていたりする）親和的態度が育つと考えられます。つまり、愛情・共感などの感性的なことは教えられたり覚えたりするものではなく、距離が近いことで実感がこもるような場面で獲得されるもので、自然に対する親和的態度も、自然の中に身を置くことで得られる感性的な気づきにより育成されると思われます。したがって自然体験には、自然を理解することだけでなく、「自然の中での感性的体験」としての意義も重要なのです。



学校での自然体験は、「自然とのふれあい」そのものを目的にする場合よりも、授業のねらい（たとえば「自然の仕組みを理解する」や「仲間との信頼関係をつくる」など）を達成するための“手段”であることが多くなっています。自然体験が増えていることは歓迎すべきことですが、学校頼みの状態では、「自然とのふれあいによる感性的体験」が十分な状況にあるとは必ずしもいえません。したがって、「距離を縮めて自然そのものを感じる場」としての自然体験は、現代においてもやはり大切なことではないかと思います。

【筆者近況】

本州では早くも梅雨入りというニュースを耳にしました。私の暮らす北海道では、ようやく桜が散りかけという感じで、森の木々はまさに新緑という感じです。まだ山には残雪もあり、遠くから見るとこの時期にしかみられない形（雪形）にみえたりします。今月末には地元夕張ではメロンの初出荷の時期。始まったと思ったら終わってしまう短い北海道の春を味わっています。

（* 本文含む写真は筆者提供）



【事務局からのご案内】能條先生によるオンライン講座、受講者募集開始！

別ページでの案内のとおり、7月26日(火)に、能條先生による自然体験の効用をテーマとするオンライン講座が開催されます。「癒し、親和的態度、畏敬の念、自然との一体感、などが得られるというのは本当か、最新の研究による検証結果の紹介」という興味深い内容です。応募は、ホームページで受付けております。受講者数が限定されています。早めの応募をおすすめします。